

青少年の一座の成功に向けて

講有高須日良上人の5月「全国統一口唱会」の激励より

全国、全世界の佛立教講の皆さん、令和3年5月の全国統一口唱会にご参詣いただき、ありがとうございます。

こちら京都は今、今月の末まで緊急事態宣言が延長されています。

国内はもとより、世界の佛立寺院も同様に、それぞれが大変な状況の中で、高祖ご降誕800年の慶讃ご奉公をいただいていますこと、深く随喜をさせていただいております。

ただ、どんなに困難な状況にありましても、私たち佛立教講は、御法さまのお守りがいただけるということを、決して忘れてはなりません。

不要不急の事柄の自粛は大切ですが、ご信心が萎縮してしまつては、そんな御法さまのお守りを頂戴することが出来ませんので、それぞれに励まし合つて御法におすがりし、報恩のご奉公にお努めください。

さて、今月5日は「こどもの日」でした。コロナ禍の中でも、今年もオンラインで薫化会や青年会の行事が行われた寺院もあるやに聞いています。家庭内の信行相続は、何より大事なご奉公の一つですが、宗門では一週間後の今月23日に、第7回の「青少年の一座」を本山宥清寺で奉修し、オンラインで世界中の佛立青少年にご参詣いただくよう準備が進んでいます。当日、発表される体験談は、私も事前に聞かせていただきましたが、本当に有難い内容でした。是非とも、一人でも多くの次世代の宗門をになう若者たち、子供たちにオンライン参詣をいただき、ご信心の素晴らしさを感じて欲しいと思います。

当日まで、まだ一週間あります。どうかお寺をあげて、もう一度隅々まで将引し、すべての佛立信者の家庭の、法灯相続を進める法要となりますよう、ご奉公をください。

お祖師さまは、子供を授かったご婦人のご信者に、

「法華経流布あるべきタネをつぐところの玉の子、出生。目出たく覚え候ぞ。色心二法をつぐ人なり」とお手紙で喜びを伝えられています。色心二法とは、家督相続も法灯相続も、ということです。

今日もシッカリとオンラインの口唱会で口唱の功德を積ませていただいて、先輩の信徒として、また親として、御題目の有難さを青少年信徒に伝え、以て高祖ご降誕800年の慶讃ご奉公円成を目指しましょう。

ありがとうございます。